

## 6 薬用作物栽培試験

### 1. 目的

せんきゅうのウリハムシモドキに対する未登録農薬の適用拡大を目指した防除効果及び薬害の検証

### 2. 実施場所

帯広市川西町 帯広市農業技術センター ほ場

### 3. 試験方法

#### (1) 供試面積及び区制

薬効試験：1区 5.04 m<sup>2</sup> (1.44×3.5m) 28株 2連制

薬害試験：1区 10.08 m<sup>2</sup> (2.88×3.5m) 56株 2連制

#### (2) 耕種等概要

定植：平成29年10月18日

栽植距離：畝幅 72 cm×株間 25 cm 露地栽培

施肥：基肥 平成29年10月16日 (N11.1 P20.0 K6.4)

#### (3) 処理方法

処理年月日：薬効試験

平成30年7月17日 (作物のステージ：生育期)

薬害試験

平成30年6月20日 (作物のステージ：生育期)

処理量：通常量区 希釈倍数 1000倍 水量 120L/10a

倍量区 希釈倍数 500倍 水量 120L/10a

### 4. 試験結果

両試験とも、道総研十勝農業試験場の協力のもと実施した。

#### (1) 薬効試験

供試薬剤	希釈倍数	成虫頭数/被害複葉数(28株)				薬害
		7月17日	7月20日	7月23日	7月30日	
A剤処理区	1000倍	17.7/0	2.3/0(5.1)	2.3/0(2.1)	2.0/0.7(3.7)	—
無処理区	—	21.7/0	56.0/5.7	135.0/29.7	65.7/75.7	—

※( )は成虫頭数の補正密度指数を示した。

(2) 薬害試験

散布6日後(6月26日)、19日後(7月9日)に茎葉について薬害の有無を肉眼で観察したが、薬害は認められなかった。

5. 考察

無処理と比べて防除効果は高く薬害は認められず、実用性があると思われる。